

第57期中央労働講座に参加して

全港湾関東地本横浜支部
執行委員 長岡 和美

シーパレス日港福にて5月27日からの3日間、第57期中央労働講座に参加させていただきました。

講座は、「全港湾の歴史について」鈴木中央執行委員長、「今の日本情勢と今後の行方」森屋隆 前参議院議員、「産別協定と事前協議制度」を松永書記長からそれぞれ講義をしていただきました。どの内容も更に理解を深めなければならないものでした。

全港湾が1946年に全日本港湾労働組合同盟として結成され、日本港運中央会と統一労働協約を締結してから、様々な動乱の中でたたかい抜いてきた歴史を知り、どれだけの犠牲があり今日の制度が確立されてきたものなのか。また、産別協定や事前協議制度は、大先輩方の計り知れないたたかいによって築き上げられてきた財産であり、これらを活かした魅力ある港湾労働と共に、この素晴らしい財産は守り抜かねばならないとご教授をいただきました。

政治が右傾化され戦争がしやすい国家になってきている。政治権力の生産者は国民自身であり、間違いを起こした権力者を追い払うのも国民自身である。国会が有効に機能するためには中間組織の再興が重要であり、その最もたるものが労働組合であるの言葉も大変印象的でした。

各地方の皆さんとのグループ討論は、それぞれの課題を共有しながら、いろいろ議論をさせていただき大変勉強になりました。

労働講座に参加させていただき貴重なお話を聞いたこと、各地方の皆さんと交流できたことは今後の労働運動の礎の一つになったと思います。学びを今後どう伝えていくのかだけでなく、今後の労働運動にどう生かしていくのかが問われているのだと思いました。

3日間大変お世話になりました。ありがとうございました。